

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-19322 (P2019-19322A)

【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2018-132872 (P2018-132872)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

C 0 8 K 5/42 (2006.01)

C 0 8 L 77/06 (2006.01)

C 0 8 G 63/688 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/02

C 0 8 K 5/42

C 0 8 L 77/06

C 0 8 G 63/688

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 11 日 (2021.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

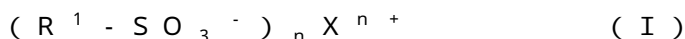
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジカルボン酸成分から誘導されるジカルボン酸モノマーユニットを有し、当該ジカルボン酸モノマーユニット中、スルホン酸基及び／又はスルホン酸塩基を有する芳香族ジカルボン酸成分から誘導される芳香族ジカルボン酸モノマーユニットの割合が 10 mol % 以上であり、全モノマーユニットの物質量の合計に対する前記芳香族ジカルボン酸モノマーユニットの物質量の割合が 5 mol % 以上 45 mol % 以下である熱可塑性樹脂を含有する熱可塑性樹脂組成物の製造方法であって、

下記一般式 (I) で示される有機塩化合物を混合する工程を有する熱可塑性樹脂組成物の製造方法。



(前記一般式 (I) 中、 R^1 は置換基を有していてもよい炭素数 1 ~ 30 の炭化水素基を示し、 n は 1 又は 2 の数を示し、 n が 1 のとき、 X^{n+} はナトリウムイオン、カリウムイオン、リチウムイオン、アンモニウムイオン、又はホスホニウムイオンを示し、 n が 2 のとき、 X^{n+} はマグネシウムイオン、カルシウムイオン、バリウムイオン、又は亜鉛イオンを示す。)

【請求項 2】

前記有機塩化合物を、前記スルホン酸基及び／又はスルホン酸塩基を有する芳香族ジカルボン酸成分から誘導される芳香族ジカルボン酸モノマーユニットの合計に対してモル比で 0.005 以上添加する請求項 1 に記載の熱可塑性樹脂組成物の製造方法。

【請求項 3】

前記熱可塑性樹脂が、ポリエステル樹脂又はポリアミド樹脂である請求項 1 又は 2 に記載の熱可塑性樹脂組成物の製造方法。

【請求項 4】

前記熱可塑性樹脂が、前記有機塩化合物を混合して前記ジカルボン酸成分とジオール成分又はジアミン成分とを反応させて製造される請求項 3 に記載の熱可塑性樹脂組成物の製造方法。

【請求項 5】

前記有機塩化合物を、熱可塑性樹脂の重合時に添加する、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の熱可塑性樹脂組成物の製造方法。